

# 生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 株式会社パワートレイン

A.バックオフィス	クラウド活用入門
クラウド・IoT導入	

コースのねらい	クラウドに関する基本的な知識、サービス及び利用方法を理解し、クラウドを活用した業務展開の企画提案の知識と技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	クラウド	(1)生産性向上とDX 生産性向上の基本的概念と、DX(デジタル・トランスフォーメーション)について、具体的な判断指標とともに解説します。自社の状況を客観的に見てどのレベルにあるのかを確認します。	1.0
			(2)クラウドとクラウドサービス SaaS、PaaS、IaaSといったクラウドサービスのキホンから、IT基盤、営業に特化したツール(SFAやCRM)、生産管理システム、会計システム、人事・労務関連システムなど、様々なサービスがあります。ここでは、それらのサービス群を紹介し、自社でのDXに役立てる知識を習得します。	0.5
			(3)自社の状況の可視化【演習あり】 自社でのシステム活用状況についてリストアップし可視化します。可視化した状態をグループで共有します。	0.5
2	クラウドサービス	(1)DXレベル3を達成するためのクラウドツール導入 自社でDXレベル3を達成するために必要なクラウドツールとその導入手順について、世界的に導入が進んでいるMicrosoft 365の製品概要を含めて詳しく解説します。	1.0	
		(2)クラウドサービスを使った仕事の進め方 クラウドサービスを使うことで仕事の進め方がどのように変化するのか、クラウドサービス導入前後での違いについて具体的に解説します。	0.5	
		(3)理想の状態を考える【演習あり】 クラウドツール等を活用した自社の利用の未来像についてワークシートに書き出し、グループにて共有しディスカッションします。講師からも各チームに実際のツールの活用を念頭に置いたフィードバックします。	0.5	
3	クラウドの利用	(1)DX成功事例 クラウドサービスを導入し、DXに成功している事例をご紹介します。大企業の事例だけでなく、中小企業や個人事業主での身近な事例もご紹介します。	1.0	
		(2)クラウドツール利用体験【演習あり】 企業のIT基盤であるMicrosoft 365のデモ環境を用いて、実際にクラウドサービスの活用演習を行います。 ・スケジュール管理 ・パーソナルストレージ(ODfB)の利用方法 ・全社ストレージ(SPO)の利用方法 ・Teamsを活用したコラボレーション体験	1.0	
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント
このカリキュラムでは中小企業での事例を多く盛り込むことで、自社にとってクラウドの仕組みを利用・活用することが必要不可欠であることを実感できるよう工夫しています。 また、自社がクラウドシステムの活用に取り組むに際して、どのような手順で進めるべきかについても、ワークショップ形式で検討し、自社に戻ってすぐに展開できるようにしています。